

2020 年度第 2 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 2020 年 5 月 27 日（水） 10:30～11:40

場 所 遠隔会議システムにて実施

出席者 唐澤理事長、小越副理事長、大島理事、牛山理事、柿澤理事、宮坂理事、船木理事、
河嶋監事、（濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長）

欠席者 柴田監事

[配付資料]

- 1 新型コロナウイルス対策追加施策・特別支援金の創設について（資料 1）
- 2 本学の志願者及び入学者の動向と本学の取組みについて（資料 2）
- 3 本学志願者及び入学者の動向について～公立化後以降の現状レポート～（参考資料）
- 4 2021 年度入学者選抜の一部変更について（資料 3）
- 5 2019 年度業務実績報告書（案）（資料 4）
- 6 2020 年度年度計画（資料 5）

[議 事]

1 議題

（1）新型コロナウイルス対策追加施策・特別支援金の創設について

唐澤理事長から資料 1 をもとに、標記の件について、5 月 11 日から遠隔授業システムを利用した授業を開始しているが、ネットワーク環境の整備の負担、大学施設を利用できないことの補償、遠隔授業実施による状況変化に伴う心的見舞い等を目的として、全学生に一律 2 万円を給付すること、給付方法は後期学費から減免すること、費用の一部については教職員親睦会の積立金残額を含めた教職員からの寄附を充当する等説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

（2）本学の志願者及び入学者の動向と本学の取組みについて

加藤教務・学生支援課長から資料 2 をもとに、標記の件について、公立化後は定員充足率が 100%を超え志願倍率も増加傾向にあること、女子学生比率は 1 割程度だが学生数の増加に伴い総人数は増えていること、県内の推薦志願者数は増えておらず定員充足率も低いこと、東海 4 県からの志願者及び入学者が増加していること等報告があった。また、入学者の動向に対応した本学の取組みとして教学マネジメントセンターを中心とした教育体制の充実、また現行の入試制度の改革、さらに魅力ある大学とするために学科見直しの取組みを推進していくこと等、報告があった。

(3) 2021 年度入学者選抜の一部変更について

加藤教務・学生支援課長から資料 3 をもとに、標記の件について、学校推薦型選抜の全国枠の募集人員を増やすこと、同じく学校推薦型選抜の専門高校・総合学科枠に長野県が対象の地域枠とその他の県が対象の全国枠を設けるとともに、専門高校等での学びを評価できるよう筆記試験の重みづけを変更すること等について説明があり、審議の結果、変更について承認された。

(4) 2019 年度業務実績報告書について

唐澤理事長から資料 4 をもとに、標記の件について、各部門からの報告をもとに実績報告書を作成したこと、各項目の評価を総合的に判断し、全体の評価として「中期計画の進捗は順調である」と結論づけたとの説明があった。併せて小越副理事から教育研究に関する内容、牛山理事から事務組織、施設等に関する内容について、それぞれ実績の説明があった。

また、唐澤理事長から最終的な報告書は 6 月末までに取りまとめすることから、それまでにご意見等があればいただきたいとの説明があり、審議の結果、業務実績報告書の原案について承認され、6 月開催の理事会にて最終的な承認を得ることとなった。

(5) 2020 年度年度計画（確定版）について

唐澤理事長から資料 5 をもとに、標記の件について、これまで確認いただいた内容をもとにした最終的なものであり、本学のホームページにも掲載していること等報告があった。

以上